

平成20年度宇都宮市決算を認定

9月定例会で、平成20年度的一般会計、特別会計(19会計)企業会計(3会計)の決算が原案通り認定された。

決算審査

歳入については、「保育費扶養者負担金の収入未済額を減少させるために、どのような対応をとっているのか」との質疑に、「電話や文書による催告、臨戸訪問等に加え、昨年6月には、悪質な滞納者に対して財産の差し押さえを初めて実施した。また、民間保育園に依頼し、滞納者への納付指導も実施した」との説明があった。

歳出については、「若



▲納税課での納税相談の様子

年夫婦世帯家賃補助金の利用実績と転入・転居前の住所の内訳はどのようなになっているか」との質疑に対し、「19年度は150件、20年度は179件の利用があり、20年度までの転入・転居前の住所の内訳は、市内の補助対象区域外からの転居が132世帯で約60%、市外からの転入が49世帯で約22%、県外からの転入が38世帯で約17%であった」との説明があった。

企業会計決算審査

(水道事業会計)

「湯西川ダムの建設に当たって、これまで約90億円を負担しているが、改めてこのダムの必要性を確認するとともに、

仮に、建設中止が打ち出された場合、どういった対応をとることになるのか」との質疑に対し、「湯西川ダムについては、本市が、中長期的に、安全な水を安定供給する上で非常に重要な水源で



▲水道管の取り替え工事の様子

あると認識している。仮に、建設中止が打ち出された場合、湯西川ダムに代わる新たな水源が必要となつてくるとともに、

これまで負担してきた90億円については、関係する自治体とも連携を図りながら対応策を検討することになる」との説明があった。

(下水道事業会計)

「今後、老朽管きよの更新工事が大きな負担となつてくると思われるが、どのように対応していくのか」との質疑に対し、「最も古い下水道管きよは、19年度に耐用年数である50年を経過し、更新が

必要と時期を迎えていることから、20年度に策定した『下水道長寿命化計画』に基づき、早期に補修・補強を行うなどの対策を講じることで、

施設の長寿命化とともに、維持管理コストの削減を図っていきたい」と説明があった。

(中央卸売市場事業会計)

「取扱数量が減少し、引き続き厳しい状況が続くと予想されるが、今後の市場のあり方について、どのように考えているのか」との質疑に対し、「今後は、20年度に策定した、第3次中央卸売市場再整備基本計画に基づき、市場の活性化等に向けて、場内関係者との具体的な事業実施に係る課題等の把握やその対応策を協議しながら、施設の適正な規模や市場の開放等についても検討していきたい」との説明があった。

決算の認定をめくり討論

賛成 自民党議員会

厳しい財政状況の中、こども医療費助成の拡充やJR雀宮駅周辺地区整備など市民生活に直結する事業に積極的に取り組んだことは評価できる。

今後とも、収納対策の取り組み強化などに努めながら、施策事業の「選択と集中」などに取り組み、内部努力の更なる徹底に努め、市民福祉の向上に寄与されるよう要望し、この認定に賛成する。

反対 日本共産党

未曾有の経済悪化のもと、本市の公共事業政策の方向を、大型公共事業優先から、福祉・暮らしなど市民生活に密着した社会資本整備重視に転換し、地元中小事業者の受注機会を広げ、地方経済の活性化と地域循環型の経済政策にシフトすべきであると考えることから認定には反対する。

市議会議場を見学してみませんか



- ◆対象者：2名以上の団体
※小学生以下の場合、保護者・引率者同伴
- ◆月～金曜日の午前10時～午後4時まで
- ◆議場見学を希望する日の5日前までに申込み下さい。
- ◆申込み先：議会広報グループ
TEL 028-632-2611 FAX 028-632-2613

